

アワプラジオ通信【2015年2月号】

■発行元 アワプラジオ クリエイティブ ■102-0084 東京都千代田区二番町5-2 麹町駅プラザ901
■E-Mail: awapuradio@gmail.com ■TEL: 03-6868-5129 ■Web: <http://awapuradio.com/>

インタビューシリーズ

途上国の子どもたちとともに地域開発を進める国際 NGO

公益財団法人プラン・ジャパン コミュニケーション部シニア・オフィサー
久保田恭代（たかよ）さんに聞く



静岡県生まれ。大学卒業後、出版社勤務。女性向け生活情報誌の編集者を経て、プラン・ジャパンに入局。

■公式サイト <http://www.plan-japan.org/>

—プランについてご紹介ください。

団体の始まりは1937年、スペインの内戦のときです。イギリス人ジャーナリストが取材に行き、そこで戦争孤児となってしまった子どもを保護し、そのための施設を建てたというのが事の始まりでした。

プランは国際本部がイギリスにあり、アジア、アフリカ、中南米、50カ国で活動しています。1983年にできたプラン・ジャパンはその一員として、こうした国々の活動を日本から支えています。私が所属するコミュニケーション部はみなさまに活動を知っていただくための広報を担当しています。

まず、子どもたちのためのプロジェクトを作って実際に管理して、それが実施されて、評価がどうだったかといったところまでを見ていきます。同時に日本でも賛同を増やしていくこと。日本のみなさまから資金を得て、それをまたその国々のプロジェクトに送って実施していくということを行います。

それだけではなく日本のみなさまにも途上国で何が起きているのかということを知ってもらうためのPRや広報活動。また、中学校や高校に行ってその世代の子どもたちに途上国のことを伝えていく開発教育もしています。

—途上国では女の子のほうが「女の子だから」という理由だけで差別されています。

女の子は男の子より、生活のあらゆる面で後回しにされがちです。まずは学校のことがあります。家が貧しくて余裕がなくて、子どもを全員学校へ通わせられないということになると、親は“将来の稼ぎ手”として期待する男の子を優先して学校に通わせます。現在、世界では6200万人の女の子が小中学校へ通えていないというデータがあります。これは(男女合わせた)全体の53%です。数字上は少しだけ女の子が多いだけだと思われがちですが、女の子は入学後に中途退学してしまうケースが多くあります。そういう点も見ていきますと、圧倒的に学校へ行けないのは女の子のほうが多いわけです。

家事、育児、病人の世話などのことを私たちは“無償のケア労働”と呼びますが、女の子は“小さな女の人”として扱われ、学校に行くなら家事を手伝いなさいとそういった“女性の役目”を担わされてしまいます。

—問題の背景には貧困がありますね。

12、13歳くらいから強制的に結婚させられるということは途上国で多くあり、その背景には経済的要因があります。これもユニセフのデータを見ると、世界で7億人以上の女性が18歳未満で結婚しています。そのうち3人に一人、2億5000万人くらいが15歳未満で結婚しているというデータがあるのです。

嫁ぎ先での家事労働や早すぎる妊娠によって体を壊したり、最後は死に至ったりという女の子もいます。また、紛争が起きてしまったとき、日常でも学校、家庭、地域での虐待や暴力の対象になりがちなのも女の子です。

このように一見、女の子は単に弱い存在だというようにも思えますが、実は女の子が5年間の初等教育を受けると、将来産む子どもが5歳以上生き延びる確率が40%以上伸びるというデータがあります。同時に教育を受けた女の子が増えると地域の栄養不良率が下がるとか、1年間女の子が中学校へ長く通えたと、将来の収入が20%上がるなど、ひいては国のGDPも上がるというデータもあります。

女の子への支援は貧困解決の近道です。女の子の問題というのは男性の理解と協力がなければ解決できません。女の子が教育を受けて力を付けると、地域がこんなに豊かになるという成功例を一つつくる事ができれば、地域の長老など今まで反対していた人がすごく協力してくれるようになります。

—日本にいる私たちが取り組めることは何があるのでしょうか。

途上国の女の子の問題に関してはまず知っていただくことですね。本や資料などを読んでいただくこと。そして次にアクションとしてご寄付もそうです。

し、イベントに来ていただくこと、ボランティアとしてご協力くださることですか。あとは今、買い物をするそれが寄付になるなどといった寄付つき商品というのが多くありますね。そういった活動がすぐにやっていただけることではないかと思います。

日本の中にも問題があって、それは途上国の問題とつながっています。日本の中でも何か感じる事があれば仲間をつくって活動していくことが大事です。最終的には日本の取り組みと途上国の取り組みをシェアしあって一緒に活動すべきだと思います。お互いに分かち合いながら連動して一緒に声を上げていくということが大事ですね。(まとめ:井上元子)

※この記事の基となった番組音声はこちら

<http://youtu.be/NfTRNM2U2p4>



わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。(2014年10月)

公益財団法人 プラン・ジャパン 久保田恭代+寺田聡子+奈良崎文乃 著

合同出版刊 1400円(税別)
※全国の書店でお求めいただけます。この本の売り上げの一部はプラン・ジャパンの活動に寄付されます。

Abe's VIEW Vol.3 「質問の効用について」 あべこう一



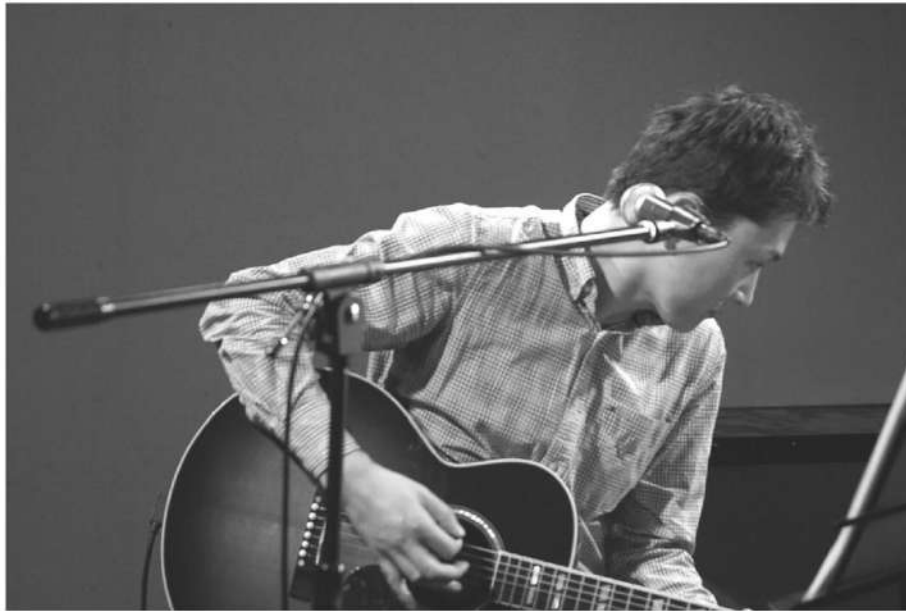
人生の質というものは、いかに自分自身に対して適切な質問を投げかけることができるかによって決まる。『賢人たちからの運命を変える質問』(マツダミヒロ著・かんき出版)という本を読みながらあらためて、質問の効用というものについて思いました。

ある事柄や問題について、その良い面は何か、悪い面は何かを自分に問うてみる。そして、悪い面を無くすために自分がすぐに行えることはあるだろうか。良い面をさらに発展させていくために、それを実行していくためのプロセスをどう楽しむことができるか。“足りない”部分を逆手に取れないか等……。

このように自分が必要な答えが見つかるまで、できるだけたくさんの質問を自分にし続けることで、自分の心の中の深い場所へ近づくことができます。その場合、質問はイエス、ノーや択一で答えられるクローズド・クエスチョンではなく、オープン・クエスチョンが望ましいです。

「良かった?」「ごはん食べた?」などのような質問よりも、「どういうところが良かった?」「ごはんは何を食べたの?」などと質問するほうが話もふくらみます。

友達と話しているうちに相手が何かアドバイスや答えをくれたわけでもないのに、自分で勝手に悩みや問題を解決していたという経験はないでしょうか。そういう状況を自分自身との対話によってもつくり出せたら面白いですね。



「今月の一枚」

昨年12月19日、あべこーうプレゼンツ『ダダの会』がライブハウス下北沢ロフトで開催されました。

出演者はアワプラジオの西澤尚美らによる『なおみんとゆかいな仲間たち』のパフォーマンス、ギター弾き語りのすぎさく(元アワプラジオ)、ピアノ弾き語りのラビッチゅmico、クリスタルボウル奏者のUrara、そしてあべこーう。

主催者として、全体の流れに気を配りながらの出演。最後の自分の出番では少々お疲れ気味のあべでした。

インターネットラジオ アワプラジオ

■東京ラブレター(毎週木曜日・21:00~21:30)
首都圏で活動するNPOやNGO、市民グループや個人の方を紹介する番組です。

●2月のオンエア【5日、12日、19日、26日】

「料理教室や農園ツアーなどを通じて農家を応援する活動」

FARM PR GIRLS(ファッピーズ)代表 小泉早穂さん
ファッピーズ応援者 土淵正則さんに聞く
ナビゲーター:あべこーう、高木祥衣(OurPlanet-TV)

●番組の聴き方

「サイマルラジオ」(<http://www.simulradio.jp/>)
にアクセス→「近畿」から「FMわいわい」を選択
スマホやipadからはアプリ「TuneIn Radio」をダウンロード。「FMYY」を選択してお聴きください。

●東京ラブレターのページ(過去の放送が聴けます)

<http://awapuradio.com/awapuradio/tokyoloveletter/>

セミナー・イベント情報

■2015.2.27(金)「自分の強みを知るための『眠らせている資源』発見セミナー」

あなたにとっての当たり前が他人にとってはすごいこと。「こんなことでみんなは喜んでくれるの?」といった『眠らせている資源』があなたの中には必ずあります。自分の強みは何だろうか。それを考えるためのセミナーです。

日時:2015年2月27日(月)19:30~21:00

会場:ちよだボランティアセンター3階C会議室

(JR「水道橋駅」東口5分・地下鉄「神保町駅」A5出口5分)

講師:あべこーう(コーチ)

資料代:500円

問い合わせ&申し込み

awapuradio@gmail.com/03-6868-5129(阿部)

※件名に「コーチングセミナー参加」と入れて本文に

お名前、電話番号、メールアドレス、参加人数をご記入ください。

●詳細はこちら <http://awapuradio.com/seminar/>

■「アワプラジオのメールマガジン」を発行しています。購読は無料。ぜひ登録をよろしく願います。

●登録はこちらから

(「アワプラジオのメールマガジン」で検索)

<http://www.mag2.com/m/0001627648.html>

あべこーうの音楽活動

■2015.3.28(土)イベント出演 ※詳細未定

場所:綱島ラジウム温泉 東京園 宴会場(横浜)
(東急東横線「綱島駅」東口最寄り)

時間:11:00~16:30(予定)

■あべこーうアルバム「夏に消えていく」&「東京実験」



1500円

夏に消えていく(2013年作品)

1. 夏に消えていく
2. 君と僕と冷えたコーラ
3. イニシャル 2013
4. 雷 Dance!~雨の夜のサーカス~
5. タイムカプセル



2000円

東京実験(2012年作品)

1. いろいろカフェー
2. 悲しくもおだやかな世界
3. Change
4. イニシャル
5. 無題ドキュメント
6. 風のドラマ
7. 雷の下で雨粒に撃たれ

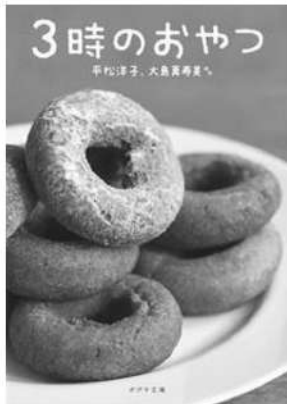
●購入はAmazon、または下記までお問い合わせください。

awapuradio@gmail.com/03-6868-5129

本の紹介

3時のおやつ (2014年10月)

平松洋子 大島真寿美ほか著・ポプラ社・580円(税別)



世間のイベントに疎い私だが唯一、心躍るのがパレンタインデーだ。高級なものから変り種まで様々なチョコレートが街を飾り、否応なしに足を止めてしまう。中でも子供のころに食べたチョコレートには格別な思い出がある。赤く長細い箱に入ったアーモンドチョコレートの箱を開けた時の香りは、途端

に時間をあの頃に戻し大人になった今でも一粒ずつ大事に食べてしまう。そして空き箱は筆箱に…いやもうそういう時代ではないか。

3時のおやつ、と言われれば誰でもひとつくらいは甘酸っぱい思い出があるだろうと思う。このエッセイ集は文人が各々の思い出のおやつを語る本である。ひとくちにおやつといっても著者の年齢や暮らしていた場所によって様々な違いがあり、共感できたり新しい発見ができたりするのもまた面白い。

とりわけ子供のころのおやつを思い出を書いたエッセイには不覚にもホロっときてしまった。百円玉を握りしめて駄菓子屋さんへ駆け込んだ放課後、妹と母のために持ち帰った給食のチョコクリーム、忙しい母が用意したほかほかのあんまん。ダイエットだの健康だのを意識せず、ただ素直におやつを「あまい、おいしい!」と喜んでいた子供のころの真っ直ぐな記憶が蘇り、胸がいっぱいになった。

同じ食べる行為とはいえ、おやつは食事とは違う特別感をもたらしてくれる。生きるために不可欠なものではない

からこそ、いつだって私たちに幸せな気分させてくれるのかもしれない。(浅香友里)

ロシア絵画の旅—はじまりはトレチャコフ美術館

(2012年10月)

ポルドミンスキ著 尾家順子訳・群像社・2376円



ロシア絵画という何を浮かべるだろうか。カンディンスキーやシャガール、マレーヴィチまたはロシア構成主義であろうか。それ以外の作家はどうなっているのか、それを知るためにこの本は格好の入門となるだろう。

モスクワの国立トレチャコフ美術館をイメージした舞台設定で、収蔵品を核に物語形式で時代の動向、画

家の生い立ち、制作の経緯、友人たちとの交流などを語りながら紹介している。1章、2章…という章立ての代わりに第1展示室、第2展示室…という表現をとることによって読者はあたかも美術館の展示室を廻るがごとくに頁を読み進めていくことになる。

14世紀末のイコン画家ルブリューフからクラムスコイ、レーピン、スーリコフらをはさみ19世紀末のセローフまで、33展示室を廻るとともに500年にわたるロシア絵画の歴史を概観する。とはいえ、ロシア近代18世紀から19世紀末の2世紀に関する記述が大半を占めている。また掲載図版が白黒なのは残念であるが、図版が多く載せられており、イタリアやフランスに比べ日本での展覧会も少ないロシア絵画への足掛かりとなる貴重な一冊である。

(内藤千尋)

「アワラジオ通信」を毎月あなたの家のポストへ! あべこうファンクラブ“Oasis”会員募集

■サポーター会員になる(お申し込みの上、下記の口座へ年会費をご入金ください)。

【入会金0円 年会費4200円】

■郵便振替・銀行振込で寄付する(みなさまの温かいご支援を下記の口座までよろしく願いたします)。

【郵便振替】

郵便振替口座 15530-3969671

名義 阿部浩一

【銀行振込】

中央労働金庫 本店営業部

普通 3113628

名義 アワラジオ 事務局長 阿部浩一

三菱東京UFJ銀行 インターネット支店

普通 3772395

名義 阿部浩一



申し込み(お名前とご住所をお書きください)・お問い合わせ awapuradio@gmail.com 03-6868-5129(担当:阿部)

編集後記

元旦にネットラジオのメンバー4人で初詣に行きました。活動を始めて以来、初めてのことで。言いだしっぺの浅井優さんから大みそかの日中に「11時の待ち合わせで」と言われ、私はてっきり元旦の午前11時だと思っていました。ところがその11時とは、大みそかの夜23時のこと。いつまでも現れない私にかかってきた電話で知りました。伝えるほうも聞いたほうもいいかげんなもので

す。結局、本当に元旦の11時に変更となり、無事に初詣を終えることができたのでした。その際にみんなでお茶を飲みながら、「今年はラジオドラマをやろう!」と盛り上がりました。そしてすでに、『原作:あべこー 脚本(台本):浅井優』で一つのお話が出来上がっています。今後、実際に配役を決めて収録を行っていきます。どうぞお楽しみに!(阿部浩一)